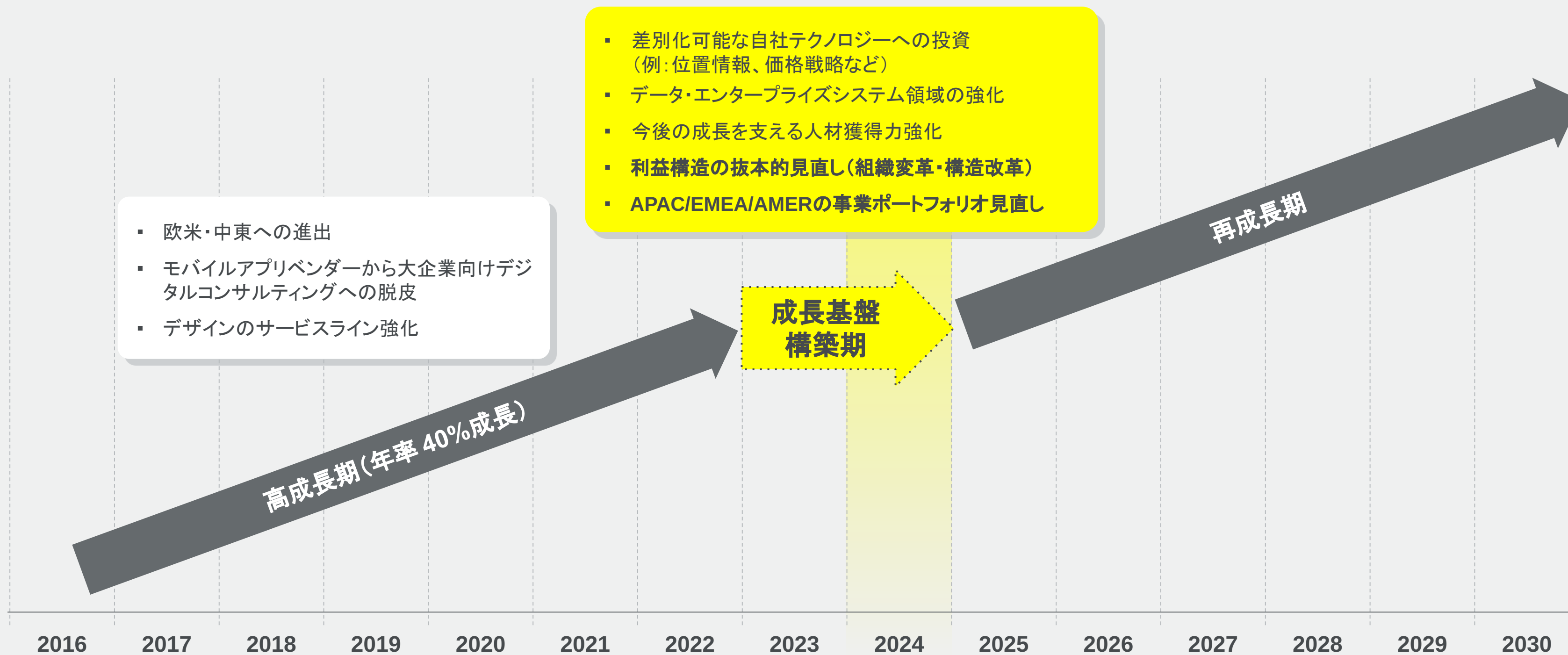


構造改革に関する補足説明資料

2024年9月19日

2024年Q1決算発表資料：今期Q3までに赤字拠点の構造改革に目途をつけることで、Q4での全リージョンの黒字化*を目指してきた



- 欧米・中東への進出
- モバイルアプリベンダーから大企業向けデジタルコンサルティングへの脱皮
- デザインのサービスライン強化

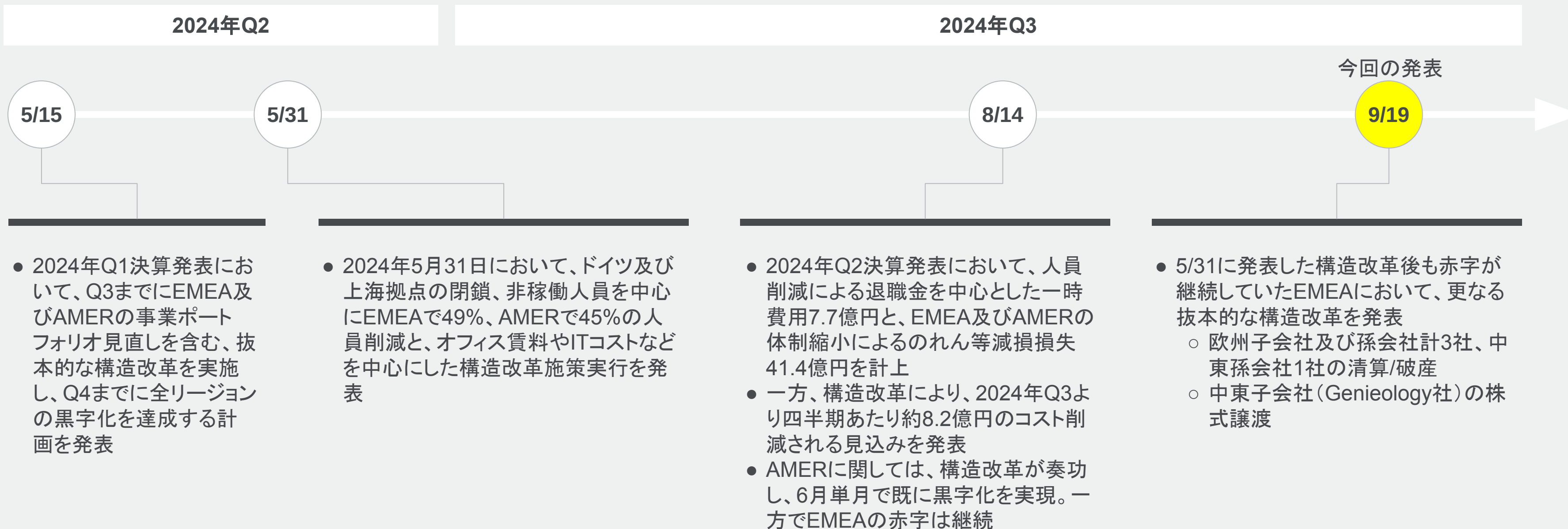
- 差別化可能な自社テクノロジーへの投資 (例: 位置情報、価格戦略など)
- データ・エンタープライズシステム領域の強化
- 今後の成長を支える人材獲得力強化
- 利益構造の抜本の見直し (組織変革・構造改革)
- APAC/EMEA/AMERの事業ポートフォリオ見直し

成長基盤
構築期

再成長期

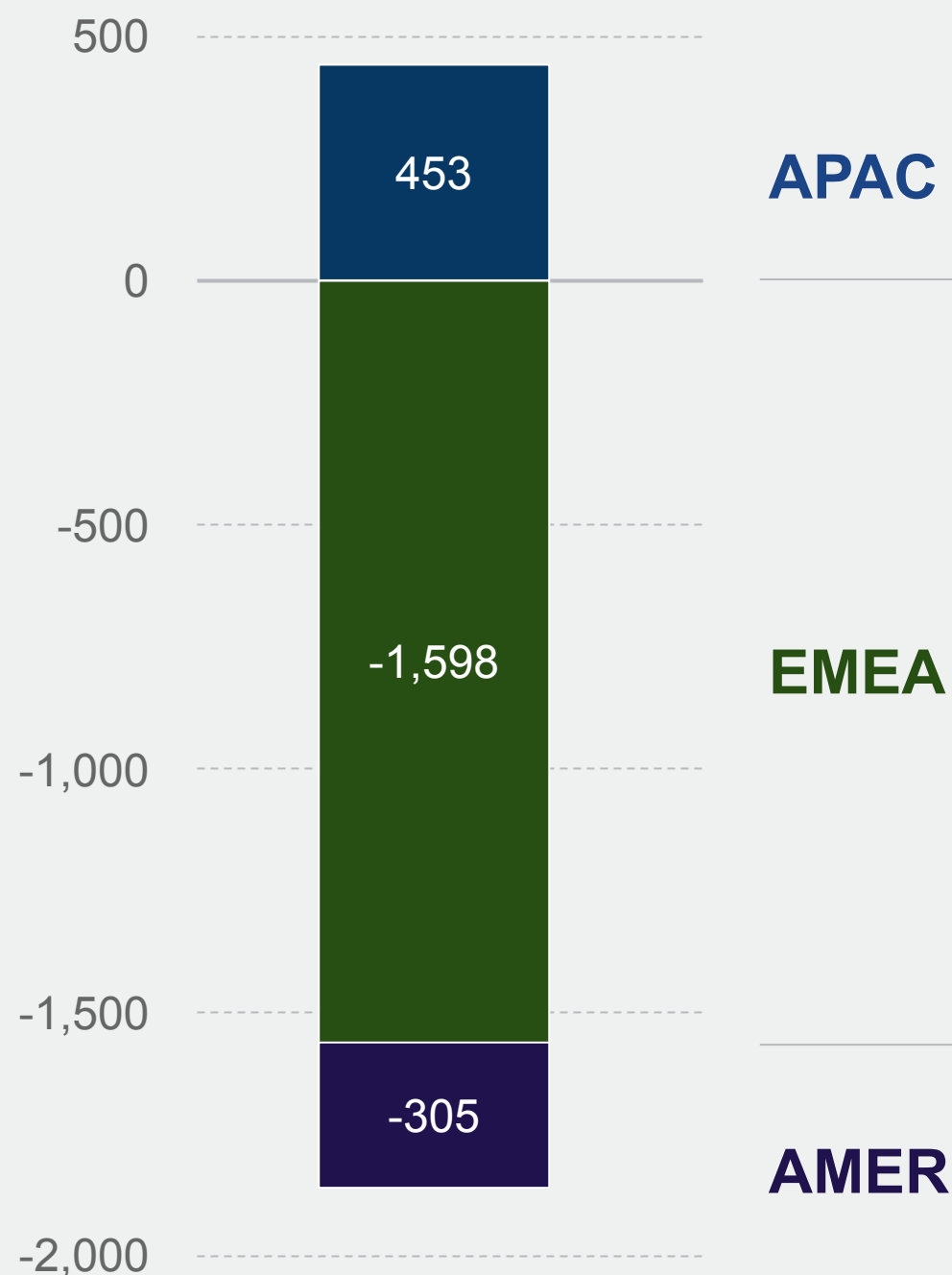
❑❑ *構造改革に関連する費用による影響を除く

赤字が継続していたEMEA及びAMERにおいて、抜本的な構造改革を実行。 当初計画通り、Q3までに構造改革に目途をつける見込み



構造改革の結果、赤字拠点の抜本的整理により利益見込みは大幅に改善

2023年度リージョン別営業利益 *
(百万円)



構造改革の内容

- 利益体質を維持していることから、大きな構造改革は実施しない
- 赤字拠点の閉鎖や譲渡などの抜本的施策の実施 (今回の発表)
 - デンマーク、チェコ、UAEは債務超過状態につき破産
 - UKは清算
 - 中東のGenieology社は創業者との交渉により1.5M USDを対価とする100%株式譲渡
- 非稼働人員を中心に45%の人員を削減

今後の利益見込み

- 2024年度においても利益基調を維持しており、グループの屋台骨として**確実な利益貢献**が見込める
- 赤字拠点を撤退することで**営業赤字は解消**する見込み
- 大幅なコスト削減が実現している一方で、売上は好調に推移しており、**利益貢献が見込める**

*構造改革費用を除く営業利益の2023年度実績

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本資料は、株式会社モンスターラボホールディングスの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券の勧誘を構成するものではありません。

本資料で提供している情報に関しては、慎重な記載をしておりますが、その情報の正確性及び安全性を保証するものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報をもとに、作成時点において当社の判断で記載したものになります。また本資料には、当社の計画や戦略、業績の見通し等、将来の見通し及び推測に関する記述が含まれており、これらが記載通りに達成される確約や保証を与えるものではありません。今後、経済状況の変化、当社が提供するサービスのニーズの変化、法令改正、世界情勢の変動リスク、その他様々な不確定要素により、実際の業績が将来の見通し及び推測と異なる場合があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

また、独立した公認会計士または監査法人における監査またはレビューを受けていない、過去の財務諸表または計算書類に基づく財務情報および財務諸表または計算書類に基づかない管理数値が含まれていることをご了承ください。

当社は、適用法令または証券取引所の規則により要求される場合を除き、本資料に含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新または改訂する義務を負うものではありません。

お問い合わせ：ir@monster-lab.com

株式会社 モンスターラボホールディングス (証券コード：5255)

Monstarlab ::